

「こどもからの意見聴取」の結果

1 趣旨

こども計画の策定にあたっては、こども基本法に基づき、こどもを養育する保護者だけでなく、こども自身からも意見を幅広く聴取し、その意見をこども施策に反映させることが求められるが、現状のパブリックコメントでは、児童生徒からの意見を十分に収集できないことが懸念される。

このような状況を踏まえ、こどもたちが下呂市のこども計画をはじめとする市の取り組みについて、自由に意見を述べることができる機会を設け、その意見を今後の市の施策に反映させていくことを目的として、「こどもからの意見聴取」を実施した。

2 概要

期 間	令和7年1月8日（水）～28日（火）
対 象 者	市内小中学校の小学4年生から中学3年生までの児童生徒
周 知 方 法	学校を通じて案内文書を配布
回 答 者 数	809名（意見はない旨の回答をした児童生徒を除く）

[学年・居住地別回答者数]

学年\居住地	下呂地域	萩原地域	金山地域	小坂地域	馬瀬地域	計
小学4年生	24	56	30	13	1	124
小学5年生	20	82	33	15		150
小学6年生	26	67	29	15	5	142
中学1年生	75	40	40		4	159
中学2年生	68	23	27			118
中学3年生	61	17	38			116
計	274	285	197	43	10	809

3 総括

小中学生をトータルすると、意見の多かった順は「遊び場の不足」、「店舗の不足」、「地域や学校間の交流機会の不足」であった。

ただし、小学生と中学生の意見には、共通する部分もあるが、年齢による視点の違いや、具体的な要望に違いが見られた。

4 分析結果

(1) 小学生と中学生の比較

【共通する意見】

①遊び場の不足

- ・小学生も中学生も、公園や遊具の不足を訴え、特に飛騨川公園のような施設を増やしてほしいという意見が多くある。また、年齢に関係なく楽しめる場所を求める声も共通している。

②店舗の不足

- ・本屋がないことへの不満は、小学生と中学生の両方から多く挙げられています。その他にも、コンビニやスーパーマーケットなど、日常生活に必要な店舗が少ないという意見やショッピングモールが欲しいといった意見が多数ある。

③交流の機会の不足

- ・地域の人々、特に高齢者や他の学校の生徒との交流を求める声は、小学生、中学生の両方から聞かれた。姉妹都市交流のような取り組みは評価されているものの、より多くの交流を望んでいる点も共通している。

【小学生特有の意見】

①具体的な遊具の要望

- ・ブランコや滑り台など具体的な遊具の設置を希望する意見が多くある。また、アスレチックや水上アスレチックなど、体を動かして遊べる施設への要望も目立つ。

②身近な場所への要望

- ・自宅の近くに公園や児童館のような遊び場が欲しいという意見が多く、より身近な場所で気軽に遊べる環境を求めている。

③店舗への具体的な要望

- ・駄菓子屋やゲームセンターなど、小学生向けの店舗を求める声が目立つ。

④学校生活に関する要望

- ・学校のパソコンでスクラッチ（プログラミング学習ツール）を使えるようにしてほしい、給食のメニューを増やしてほしい、お泊り会を増やしてほしいなど、学校生活に関する具体的な要望が挙げられている。

⑤イベントへの要望

- ・祭りやイベントをもっと増やしてほしいという意見が多くある。

⑥特定のお店への要望

- ・サーティワンやガチャガチャの森など、特定のお店の設置を求める意見が見られる。

⑦親への要望

- ・「お母さんがよく怒る理由が知りたい」など、大人への率直な気持ちを述べる意見もある。

【中学生特有の意見】

①学習環境の改善

- ・小学生よりも勉強場所の確保への関心が高く、スタディカフェや自習室のような施設を求める意見が多くある。また、図書館の座席数不足を指摘する意見もある。

②交通の便の向上

- ・バスの料金が高いことや、バスの本数が少ないことへの不満が多く、交通手段の改善を求める声が目立つ。

③社会的な関心

- ・不登校生徒への支援や、メンタルヘルスの啓発を求める声、少子高齢化対策への意見、環境問題への取り組みを求める声など、社会的な問題への関心が高いことが伺える。

④より具体的な交流への要望

- ・小学生に比べて、多文化共生や外国人との交流など、より深い交流を求める意見や、他の学校との交流を望む意見も多くある。

⑤部活動に関する意見

- ・部活動の練習場所の不足や、部活動の設備の改善を求める意見がある。

⑥進路に関する意見

- ・将来の夢について話せる場所を求めるなど、進路に関する悩みや不安を抱えていることが伺える。

⑦地域活性化への提言

- ・特産物の開発や、下呂市の魅力を発信したいという声など、地域活性化に貢献したいという意欲が感じられる。

【まとめ】

これらの違いから、小学生は遊びを中心とした身近な生活環境の充実を、中学生は学習環境の整備や社会的な問題への関心、将来を見据えた活動を重視していることがわかる。

(2) 地域ごとの比較

【下呂地域】

①本屋の不足

- ・下呂地域では、本屋の不足に対する要望が非常に多く、小学生を中心に「本屋を建てて欲しい」「本屋が増えてほしい」という声が多数上がっている。

②遊べる場所の不足

- ・小中学生ともに、遊べる場所の不足を訴えており、「小中学生が遊べる場所が欲しい」、「もっと遊ぶ場所が増えてほしい」、「飛騨川公園以外に子供たちが遊べる場所がない」といった意見がある。

③施設への要望

- ・図書館だけでなく、スタディカフェのような勉強できる施設を求める声や、カフェ付きの公園を希望する声もある。また、医療施設の充実を求める声も挙がっている。

④お店への要望

- ・チェーン店や遊園地を求める声がある一方で、お年寄りが利用しやすいスーパーに対する要望もあります。

⑤交通の便への不満

- ・中学生からは、バスの料金が低いことや電車の本数が少ないことへの不満が出ている。

⑥姉妹都市交流への関心

- ・姉妹都市の交流をもっと増やしてほしいという意見があります。

【萩原地域】

①公園・遊び場への要望

- ・飛騨川公園のような遊べる場所を評価する声がある一方で、自宅周辺に遊べる場所が少ないという意見も多くある。

②学習環境への要望

- ・大きめの勉強できる場所や、ニコリエの図書館にもっと小説を入れてほしいという意見があり、学習環境の充実を求める声が聞かれる。

③交通インフラ

- ・高速道路の建設を求める声が上がっている。

④お店への要望

- ・本屋やコンビニエンスストアの設置を希望する声があるほか、100円ショップ、ゲームセンター、飲食店など、多様な店舗を求める声が多くある。

⑤イベントへの要望

- ・花火の頻度を減らしてその分、一回ごとのイベントの質を上げてほしいという意見もみられる。

⑥学校施設への要望

- ・南中学校の体育館のトイレを綺麗にしてほしいという具体的な要望や、学校のグラウンドの整備を求める意見もある。

⑦地域交流への関心

- ・姉妹都市交流や他学校との交流を求める意見がある。また、地域の人と触れ合える場所を求める声も多くある。

【金山地域】

①公園・遊び場の不足

- ・金山地域では、遊べる場所の不足が深刻で、飛騨川公園のような大きな公園や、アスレチック施設を求める声が非常に多くある。

②本屋への要望

- ・本屋の設置を求める声も多く、本が買える場所を求めている。

③スポーツ施設の要望

- ・バスケットコート、サッカー場、バッティングセンターなど、スポーツ施設の充実を求める声が多数ある。

④イベントへの要望

- ・祭りやイベントの開催を求める声が多くある。

⑤商店街の活性化

- ・商店街の活性化を求める声がある一方で、スーパーマーケットやコンビニエンスストアの設置を求める声もある。

⑥その他の施設への要望

- ・ラウンドワンのような施設や、DVDを借りられる場所を求める声も上がっている。

⑦学校施設への要望

- ・学校の体育館やグラウンドの整備を求める意見もある。

⑧地域交流への関心

- ・他の学校や地域の人との交流を求める声がある。

【小坂地域】

①きこり公園の整備

- ・きこり公園の遊具を増やしてほしいという意見や、ボール遊びができるように整備してほしいという意見が多くある。

②交流への関心

- ・留学生との交流や、他国の人と交流したいという意見が目立ち、国際交流への関心が高いことが伺える。

③イベントへの要望

- ・下呂市スキー大会への参加人数を増やしてほしいという意見や、飛騨川公園でのイベントを継続してほしいという意見があります。

④地域ボランティア活動への関心

- ・地域ボランティア活動をもっと宣伝してほしいという意見や、ボランティア活動をしたいという意欲がみられます。

⑤学習環境への要望

- ・寺子屋の場所を増やしてほしいという意見がある。

⑥その他

- ・小学生にも検診をしてほしいという意見や、地域の人と触れ合いたいという意見もある。

【馬瀬地域】

①遊べる場所の不足

- ・テニスができる場所や、卓球ができる場所の設置を求める声があり、スポーツ施設への要望が目立つ。

②お店への要望

- ・馬瀬にはあまり店がないため、駄菓子屋を求める声がある。

【地域ごとの特徴】

下呂地域：本屋や勉強場所など、学習環境の整備を求める声が目立。また、交通の便への不満も強い。

萩原地域：遊び場や店舗への要望が多様で、特にニコリエのような施設を求める声が多い。

金山地域：公園やスポーツ施設の不足が深刻で、大規模な遊び場を求める声が多い。

小坂地域：きこり公園の整備や国際交流への関心が高い。

馬瀬地域：スポーツ施設やお店の少なさに対する不満が目立つ。

(3) 少数ではあるが具体的な提案や特色ある意見

【学校教育・学習環境に関する具体的な提案】

- ・授業でのタブレット利用環境の改善を求める意見がある。具体的には、学校のタブレットを iPad にしてほしいという意見や、学校のパソコンで授業中以外でもスクラッチを使えるようにしてほしいという意見が出ている。また、オンライン授業の実施を求める意見や、授業時間の短縮を提案する意見もある。
- ・学校の施設改善に関する意見も複数ある。例えば、学校の体育館のトイレをきれいにしたい、体育館にエアコンをつけてほしい、学校にエレベーターが欲しいなど、具体的な要望が出ている。
- ・学習環境の整備に関して、図書館以外に勉強できる場所（スタディカフェのような施設）を求める意見や、図書館の漫画の種類を増やしてほしいという意見もある。
- ・小中学校での部活動の環境改善を求める声もあり、部活動の設備を良くしてほしい、部活動の練習場所を増やしてほしいという意見が出ている。また、部活動で使う備品を安くしてほしいという意見もある。
- ・学校での検診を小学生にも実施してほしいという健康に関する意見や、給食の改善を求める意見も複数あります。例えば、給食のデザートを増やしてほしい、給食の時間を早くしてほしい、給食を無料にしてほしい、など具体的な要望が出ています。

【地域活性化・交流に関する具体的な提案】

- ・地域の伝統文化を体験できる場所が欲しいという意見や、お祭りを増やしてほしいという意見がある。地域の人と触れ合える場所やイベントを増やしてほしいという意見も多くある。
- ・多文化共生の推進に関する具体的な意見として、外国人が日本語を学べる場所や、外国人と交流できる場を設けてほしいという意見がある。日本語交流ができる場を求める声や、外国籍の子供たちに寄り添った取り組みを求める声もあります。
- ・下呂市の魅力を発信することへの関心も高く、下呂市の特産物を作ってほしい、下呂市を知れる活動をしたい、下呂市の魅力を出したイベントをしたいという意見が出ている。

- ・他地域との交流を求める意見として、姉妹都市交流をもっと増やしてほしい、他の市町村との寝屋子交流をしたい、他の学校との交流会や合同運動会をしたいという具体的な提案がある。
- ・ボランティア活動に関しても、ボランティアの機会を増やしてほしい、ボランティア活動をもっと宣伝してほしいという意見があります。

【インフラ・施設に関する具体的な提案】

- ・本屋や文房具店の設置を求める意見が多い中で、DVDを借りられる場所、カード専門店、コスメを売っている場所など、特定の店舗の設置を希望する声も出ている。
- ・交通インフラの整備に関する具体的な意見として、高速道路の建設、竹原に駅を作してほしい、バスの料金を安くしてほしい、バスの本数を増やしてほしいという意見がある。
- ・公園の整備に関しては、公園に時計台を設置してほしい、公園にベンチを増やしてほしい、公園の遊具の種類を増やしてほしい、公園の芝生化などを求める声がある。
- ・スポーツ施設に関しては、テニスコートの増設、バスケットコートの増設、サッカー場の整備、バッティングセンターの設置、卓球台の設置などを求める意見がある。
- ・その他にも、公衆電話の設置、街灯の増設、ゴミ箱の設置、Wi-Fi環境の整備など、具体的な提案が出ている。

【その他特色ある提案】

- ・子供の意見を聞く場所を増やしてほしいという意見や、子供の意見を尊重してほしいという意見がある。また、気軽に相談できる場所が欲しいという意見も複数ある。
- ・学校や地域でのイベントを増やしてほしいという意見や、イベントの日程を調整してほしいという意見も出ている。
- ・ごみのポイ捨てを減らすための取り組みや、道路の安全性を高めてほしいといった環境整備に関する意見もある。
- ・子育て世代への支援を求める声も出ており、保育園の受け入れを優しくしてほしい、子供食堂を増やしてほしい、子育てに不安を持っている人が相談できる場所を作してほしいといった意見がある。